

**【施策評価調査】**

施策名	5-3-4	地域コミュニティ(小学校区単位)による地域教育力の活用		120	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ	120	生涯学習は、町民一人ひとりが自発的な意思により、自己の充実、啓蒙や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を利用し、自分に適した手段、方法を選択し、一生涯をとおして行うものです。その実現に向け、学習意欲が持続されるよう、様々な自然体験、社会体験、交流活動の機会を、より身近な場所で事業を展開することにより、参加しやすい状況を作るとともに、自ら生涯学習を支える地域協働団体に参加し、他者とのふれあいを豊かにすることで、人間としての充足感を味わえるよう施策を展開します。
		担当部課	教育部生涯学習課				
環境変化	近年、社会環境が大きく変化し、生活様式、価値感が多様化し、他者との結びつきが弱くなっていると言われている。					既存の公共施設を有効活用し、地域交流センター(市民活動支援センター・生涯学習センター・地域公民館)を小学校区単位に(5年後に2箇所・10年後に6箇所)新設します。この施設を地区の拠点として利用して、地域教育力の活用を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)	

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 地域交流センター活動年間事業数(種類)	平成16年度 0種類	計画		2種類	2種類	5種類	5種類
		実績		0	0		
指標 : 地域交流センター設置数(累計)	平成16年度 未設置	計画		1箇所	1箇所	2箇所	2箇所
		実績		未設置	未設置		
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	7,045,000	3,871,000	3,747,000		
	決算	5,550,453	3,183,976	3,479,517		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
花いっぱい運動推進費	当初 3,747,000	植栽事業参加延べ人数(単位:人)	A	目標値には達しなかったが、ボランティアや自治公民館・事業所等の協力を得て、町の住環境の整備向上につながったものと思う。また地域協働の推進も図れたものと思う。			
	決算 3,479,517	3,000人 / 5,000人		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**施策事後評価 20年度の検証**

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	花いっぱい運動推進は、ボランティアによる「たかね愛ロード事業」や自治公民館単位・事業所等による「花のある町づくり」事業として推進してきており、町づくりの一助となったものと評価する。	花いっぱい運動推進事業は、自治公民館や事業所において定着してきている。各公民館の地域住民や事業所内職員とともに実施することで地域協働の精神も養われることにもなり、今後も継続的に取り組んでいきたい。指標にある地域交流センターについては、当面は設置せず、地域の連帯感を深めるための取組や地域資源の掘り起こしを行っていくものとし、事業の見直しをする。
■ <b>総合評価</b> ■	継続的に施策展開されていると評価する。ただし、後期計画策定に向け、住民協働推進計画の動向を見極めながら、「地域教育力」の活用をするためにといった手法が良いのか、自己所管の施策だけでなく、他の分野の施策が「地域づくり」をどう行っていくとするのか、把握しながら、連携・調整のとれた施策展開を検討すること。	